

キャラクター名

プレイヤー名

エイン・ブリンガー・モルドレッド

メインクラス	シーフ	Lv.1:		レベル	3
サポートクラス	バーサーカー	Lv.1:	バーサーカー	性別	なし（おとこのこっぱい）
称号クラス				年齢	
種族	フェイ			境遇	
出自 (効果)	妖精騎士			目標	

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運	
基本値	12	14	11	6	10	9	9	
ボーナス	4	4	3	2	3	3	3	
クラス修正	1	2	1	0	2	0	0	
他修正								
能力値	5	6	4	2	5	3	3	

HP	36
MP	30
フェイト	5

	装備品	射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ヴォウジェ	至近	-1	12	0	0	0	0	0
左手									
頭部	ドミノ					2			
胴部	レザーアーマー					5			-1
補助	ガントレット					3			-1
装身具									
	能力値		6	0	4	0	3	9	10
スキル								2	
その他									
	総計(右)		5	12					
	総計(左)				4	10	3	11	8
	総計(両)								m
	ダイス数		2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数		所持品
トラップ探知	5			5	+ 2 d		冒険者セット
トラップ解除	6			6	+ 2 d		バックパック
危険感知	5			5	+ 2 d		ポーションホルダー
エネミー識別	2			2	+ 2 d		MPP*5
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d		
魔術判定					+ d		
呪歌判定					+ d		
錬金術判定					+ d		
現在重量：	5						
最大重量：	29	所持金：	1509	預金・借金：			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
フェイ：スプリガン	★	2	セットアップ		自身			
効果：								白兵ダメ+5、回避判定-2、マイナー解除かシーン終了まで
ワイドアタック	1	4	メジャー	武器	範囲(選択)	命中		
効果：								武器攻撃を行う。2体以上を対象に取ったらダメージ+[SLx2]
ピアシングストライク	2	5	ダメ前					
効果：								ダメージ+SLd
AM:両	1		パッシブ					
効果：								命中+1d
バーサーク	2	3	マイナー					
効果：								シーン中,武器ダ+[SL*3],リアクション-1d
ソウルヒート	2	3	バーサーク					
効果：								[狂戦士化(SL+1)]
フリンジスイング	1		パッシブ					
効果：								[狂戦士化]時命中+1d
タイニィウェポン	1		アイテム					
効果：								武器軽量化（適用済み）
コンフューズドファイト	1		パッシブ					
効果：								白兵駄目+[同エンの敵数*2]
エンラージリミット	★							
効果：								携帯可能重量増加
フェイス：ダグデモア	★							
効果：								行動値+2
フェンサーⅠ	★	F1						
効果：								武器攻撃のダメージに+敵数D
トレーニング：器用	★							
効果：								器用基本値+3
効果：								
効果：								
効果：								

名前：エイン・ブリンガー・モルドレッド

概要：

エインは戦火の中で生まれた妖精だった。彼女を見つけたのは、同じ名前を持つ貴族の姫、エインだった。お姫様は妖精のエインに、自らの騎士となることを願い託した。お姫様は代々王家を守る騎士の家系に生まれた次女だった。しかし、誇りを持つのは彼女一人。他の兄妹や家族は既得権益に浸り、遊興にふけり、墮落していた。その歪みはすべて領地の民へと押し付けられていた。

お姫様には、この状況を変えるだけの力がなかった。エインが騎士となるまでは。

エインは決意の末、優しく育ててくれた両親に刃を向け、いつも遊んでくれた兄妹をも手にかけた。誰も殺したくないという本音を押し殺し、民のため、最善を尽くすため、彼女はその手を汚し続けた。やがて、お姫様の貴族派閥は壊滅し、領地は善政を敷く新たな貴族に吸収された。民には平和が訪れた。平和になった領地を見たお姫様は、最後の命令をエインに下した。お姫様はエインに、自分を斬り、国外へ逃げるよう命じた。

エインを守るためには、彼女がお姫様との関係を断ち、裏切り者として振る舞う必要があった。エインが居なくなることがどのような意味を持つのか、エインには分からなかった。騎士を持たない自派閥を壊滅させた少女に、どんな末路が待っているのか――妖精のエインには知る由もなかった。

こうしてエインは、国外のグランフェルデンへと逃亡し、冒険者となった。